

2023年度(令和5年度・第10期)事業報告

一般社団法人 全国コミュニティ財団

総括	<p>前年度の引き続き、休眠預金を活用して、コミュニティ財団設立支援に取り組むとともに、各財団が培ってきた実践事例・ノウハウ等を共有する機会を作ることができた。また、当初計画していた通り、協会が蓄積してきた伴走支援の知見や休眠預金の助成先の実績・成果、各コミュニティ財団のノウハウ等を整理・体系化して、「コミュニティ財団のつくり方」のテキストを制作した。次年度は、それを踏まえて、コミュニティ財団のプログラムオフィサーの役割を体系化したマニュアルを改訂することを目指し、自主事業の開発も視野に入れる。</p>
----	--

新規/継続	種別	事業名	事業計画	事業成果	パートナー	担当	事業収益
(1) コミュニティ財団や地域社会についての調査研究							(0)
継続	助成事業	地元企業におけるソーシャルビジネス調査	休眠預金事業の一環として、各地域において協働しないしは助成先となりうるような地元企業によるソーシャルビジネス事業のモデル事例を調査し、オンライン上のレポートにまとめる。	noteに「地場企業によるソーシャルビジネスの現場を知る」を連載。2023年度は1本更新した。 https://note.com/cf_japan/m/mdc2a37e2e359	JANPIA	石原	0
新規	助成事業	コミュニティ戦略を持った経営戦略策定状況の調査	休眠預金事業の一環として、各地域でCFが地域戦略をもった経営戦略の策定がどう進んでいるか、その課題やポイントは何かを事例から明らかにする。	次年度に持ち越しとなった。	JANPIA	高橋	0
(2) コミュニティ財団業務の改善についての研究企画							(0)
継続	自主事業	第三者認証及び通報窓口の運営	コミュニティ財団の第三者認証制度のあり方を再検討する。	制度設計時から外部環境が変わっていることから、実施体制変更等を継続検討している。	全国NPO事務支援カンファレンス、非営利組織評価センター	石原	0
継続	自主事業	災害時における寄付募集プラットフォームの提供	会員CF等に災害発生時の支援基金募集のウェブプラットフォームを提供する。また、別途、他組織と寄付募集を効率化するための協働取組の仕組みを検討する。	能登半島地震発災翌日より、実行団体「ほくりく未来基金」の災害支援基金の立ち上げ支援を行い、1,000万円以上の寄付募集に貢献することができた。既に他プラットフォームの利用に切り替えているが、3月末時点で合計4,000万円以上の寄付が集まっている。 ※決済手数料、支払い手数料の実費のみ徴収しており、収入はない	—	宝楽	0
継続	自主事業	プログラムオフィサーに関する研究	プログラムオフィサーのあり方に関する研究を行うと共に、そこから得られた知見を研修の形で会員などに還元する。 ・研修:POの工具箱研修	今年度は有料での研修は実施しなかった。	自主	鈴木	0
(3) 関係団体、機関、官庁などに対する意見の開陳ならびに連絡							(0)
継続	自主事業	各種政策への提言、ロビイング	プログラムオフィサーの在り方、助成における伴走支援の必要性や在り方について整理し、提言を行う。	特に実施しなかった。	—	—	0
(4) 会員の職員などに対する研修の実施ならびに会員の行う教育についての調査研究							(0)
継続	自主事業	理事及び監事研修の実施	CFの理事及び監事に必要な自線や担うべき役割に関する研修を開催する。 ・コンプライアンスに関する連続研修	役員を対象とした、コミュニティ財団のコンプライアンスに関する研修を開催した。また、休眠預金事業の実行団体向け研修に会員財団もオブザーブ参加できるようにした(計2回)。 ・コンプライアンスに関する連続研修 (第1回)コミュニティ財団のヒヤリハット事例共有会 (第2回)「非営利組織の運営体制構築のためのガバナンス概論」 ・協働提案型ファンドレイジング専門コース研修(JFRA連携)	—	山田・小阪・石原	0
(5) 会員相互が連携して実施する事業の企画ならびに実施							(2,370,000)
継続	自主事業	会員CF対談	会長と各地のコミュニティ財団とのオンライン対談を開催する。	今年度は未実施で終わった。	—	山田	0
継続	自主事業	バックオフィス支援事業	会員CFのバックオフィス支援のマッチングを行う。	新設コミュニティ財団等のバックオフィス支援を行う事業を京都地域創造基金と連携して実施した。 [2023年度の支援先] ・公益財団法人わかやま地元元力応援基金 ・公益財団法人うなんなんコミュニティ財団	京都地域創造基金	可児	1,170,000

新規/継続	種別	事業名	事業計画	事業成果	パートナー	担当	事業収益
継続	協働事業	遺贈寄付の推進	全国レガシーギフト協会と連携して、遺贈寄付をどう地域に生かすかに対する理解促進や相談対応に関する研修の実施などを行う。また、会員財団等と連携して、遺贈寄付ウィークに全国同時開催企画を実施する。	全国レガシーギフト協会が実施する「遺贈寄付ウィーク」に合わせて、全国のコミュニティ財団や中間支援組織と連携した同時開催企画を行い、10地域・会場、約70名の参加を得た。 [開催実績] ・認定特定非営利活動法人 北海道NPOファンド(北海道) ・公益財団法人ちばのWA地域づくり基金(千葉県) ・ぐんま未来基金設立準備会(群馬県) ・公益財団法人ふじのくに未来財団(静岡県) ・一般財団法人ほくりくみらい基金(石川県) ・公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま(岡山県) ・一般財団法人ちくご川コミュニティ財団(福岡県) ・公益財団法人 佐賀未来創造基金(佐賀県) ・一般財団法人くまもとSDGs推進財団(熊本県) ・公益財団法人みらいファンド沖縄(沖縄県)	全国レガシーギフト協会、日本ファンドレイジング協会	可児	1,200,000
継続	自主事業	ブロック勉強会	各ブロックにおいてテーマを設定し、会員CFや関係団体を講師に招いた勉強会を開催する	各ブロックでの相互交流・学び合いを支援するため、開催費用の一部を協会の予算から支援した。 [開催実績] ●2023/9/20:近畿ブロック ●2023/7/6-7:九州ブロック ●2023/10/29:北海道・東北ブロック ●2023/12/12:関東甲信越ブロック	—	ブロック長	0
継続	協働事業	寄付月間	日本ファンドレイジング協会などが展開する寄付月間の取組みに参画し、寄付に関する啓発や推進を行う。	日本ファンドレイジング協会などが展開する寄付月間の取組みに推進委員、共同事務局として参画し、寄付に関する啓発や推進を行った。	寄付月間実行委員会	志村	0
(6) 地域の課題解決に取り組む事業に対する支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業							(0)
(7) 地域の課題解決に取り組む事業に対する助成、顕彰等を行う事業							(83,428,514)
継続	助成事業	地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業<休眠預金活用事業(2020年度通常枠)>	北陸・四国において、新しい資金循環の担い手となる資金仲介組織(市民ファンド・コミュニティ財団等)及びその運営を担う若手人材を育成し、NPO・中小企業の社会事業化を支援する。	地域において、地場中小企業のコミュニティビジネス化を支援する新しい資金循環機能及び担い手となる若手人材を育成する事業を公募し、4団体に助成・伴走支援を行っている。実行団体の事業最終年度となり、地域への波及効果や自立的な運営に向けた戦略づくりなどをサポートした。 [実行団体] ・一般社団法人リズカール(「公益財団法人えひめ西条つながり基金」を設立) ・公益財団法人あくるめ ・認定特定非営利活動法人まちづくりスポット(「一般財団法人ひだ財団」を設立) ・認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議	JANPIA	可児(鈴木・石原・高橋)	39,302,799
新規	助成事業	休眠預金活用事業(2021年度通常枠)	日本海東北・北関東・四国において、新しい資金循環の担い手となる資金仲介組織(市民ファンド・コミュニティ財団等)及びその運営を担う若手人材を育成し、NPO・中小企業の社会事業化を支援する。	地域内の資金循環を生み出す組織づくりとそれを担う若手人材育成を支援するスタートアップ助成事業を公募し、4団体に助成・伴走支援を行っている。実行団体の事業開始2年度目のため、財団設立・公益法人化、助成事業開始など、助成の成果が徐々に見られるようになってきた。 [実行団体] ・特定非営利活動法人市民立ぐんまNPOセンター(「一般財団法人ぐんま未来基金」を設立) ・特定非営利活動法人わがこと(「一般財団法人たかまつ讃岐てらす財団」を設立) ・ほくりくみらい基金準備委員会(「公益財団法人ほくりく未来基金」を設立) ・合同会社ドラマチック(「一般財団法人HATA」を設立)	JANPIA	志村・可児(鈴木・石原・高山・宝楽など)	41,757,834
新規	助成事業	休眠預金活用事業(2023年度通常枠)	資金仲介組織(市民ファンド・コミュニティ財団等)の空白エリアにおける新しい資金循環を担うローカルファンド設立及びその運営を担う若手人材を育成し、地域に存在する構造的な不平等を解消するコレクティブインパクト型の事業・プロジェクトをコーディネートする。	地域内の資金循環を生み出すローカルファンド設立とそれを担う若手人材育成を支援するスタートアップ助成事業を公募し、設定した重点地域11箇所で開催説明会を開催し、13団体から申請があり、審査会の結果、5団体を内定した。 [内定団体] ・東シナ海の小さな島ブランド株式会社 ・NPO法人GWEI ・NPO法人bankup ・甲斐の国コミュニティ基金設立準備会 ・特定非営利活動法人宮崎文化本舗	JANPIA	宝楽・高橋	2,367,881
(8) 会員相互の親交、連絡、情報共有							(0)
継続	助成事業	年次大会及びブロック会議の開催	「伝統宗教と寄付」や「休眠預金活用」などのテーマを「コミュニティ」を軸に語る分科会を設定した年次大会を開催する。	休眠預金事業成果報告を兼ねて、「コミュニティ財団から見る助成財団のPOの展望を語る」を全体テーマに、2024年3月1日に武蔵野大学にて開催し、約50名が参加した。休眠預金事業の実施報告及び実行団体研修の一環として開催し、20年度通常枠から4団体に活動の成果を発表してもらうとともに、「地域×PO」「市域×PO」「災害×PO」をテーマとしたセッションを設け、それぞれの観点からプログラムオフィサーの役割・あり方について議論した。	—	可児、関東甲信越ブロック会員財団	0

新規/継続	種別	事業名	事業計画	事業成果	パートナー	担当	事業収益
(9) 前各号に掲げる事業に付帯する又は公益に関連する事業							(0)
継続	自主事業	講師等派遣	コミュニティ財団の設立・運営や現状等に関する	2023年度は以下の4件の依頼に対応した。 ●2022/11/6,12/4:七尾未来基金設立準備会審査会 ●オンデマンド:協働提案型ファンドレイジング専門コース研修基礎編(JFRAとの共同開発研修) ●2023/12/1:アジア・フィランソロピー会議2023 ●2023/12/17,2024/1/14:協働提案型ファンドレイジング専門コース研修 応用編(JFRAとの共同開発研修)	自主	理事・事務局	214,000
継続	自主事業	ウェブサイトの運営	全国コミュニティ財団協会のウェブサイトやメールマガジンによる様々な情報発信を行う。	ウェブサイトやSNS等で情報発信を行った。	自主	事務局	0

2023年度(令和5年度・第10期)組織運営報告

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会

総括

本年度は、本店所在地を岡山県岡山市から京都府京都市に移転することに伴い、定時社員総会にて定款変更を行なった。また、理事会では運営実態に合わせた経理規程の改訂・運用開始の他、契約事務取扱に関する規程整備に着手を始めた。

・日本財団助成事業の不適切な会計処理の件
2016～18年度に実施した日本財団助成事業において、前年度に受けた再監査の結果通知があり、16年度と17年度分について、執行していないと判断された経費27,626,433円が取り消し対象となり、最終的に21,731,000円を返還することになった。返還にあたっては、「日本財団助成返還金対応委員会」を設置し、資金調達のため基金への拠出の引受人について検討して決定した。また、原因究明・再発防止策を講じるため、日本財団とのコミュニケーションをとった上で、顧問弁護士に依頼して、内部調査報告書を作成し、会員財団への報告の上、ウェブサイト公開した。そして、内部調査を踏まえて、コンプライアンス委員会を開催し、監事要望も踏まえて、「不適切な会計処理に関する第三者調査委員会」を設置した。

社員総会				
・定時社員総会(年1回) ・臨時社員総会	定時社員総会	2023年6月28日(水)10:00～12:00	出席社員数 [18名(議長委任1名)]	オンライン
理事会				
・通常理事会(年4回) ・臨時理事会 運営体制整備と各種規程の改定、整備を行う。 情報共有、決裁手続き等の整備を行う。	第1回理事会	2023年5月31日(水)10:00～12:00	出席 [理事8名 監事2名] 欠席 [理事2名 監事0名]	オンライン
	第2回理事会	2023年6月9日(金)16:00～16:30	出席 [理事7名 監事2名] 欠席 [理事3名 監事0名]	オンライン
	第3回理事会	2023年6月28日(水)12:00～13:00	出席 [理事9名 監事1名] 欠席 [理事1名 監事1名]	オンライン
	第4回理事会	2023年9月6日(水)9:00～11:00	出席 [理事9名 監事2名] 欠席 [理事1名 監事0名]	オンライン
	第5回理事会	2023年11月27日(土)12:00～14:00	出席 [理事8名 監事2名] 欠席 [理事2名 監事0名]	オンライン
	第6回理事会	2023年12月18日(月)12:00～13:00	出席 [理事9名 監事2名] 欠席 [理事1名 監事0名]	オンライン
	第7回理事会	2024年2月18日(日)8:00～10:00	出席 [理事8名 監事1名] 欠席 [理事2名 監事1名]	オンライン
	第8回理事会	2024年2月19日(月)14:00～14:30	出席 [理事6名 監事1名] 欠席 [理事4名 監事1名]	オンライン
	第9回理事会	2024年2月24日(土)10:00～12:00	出席 [理事7名 監事1名] 欠席 [理事3名 監事1名]	オンライン
	みなし決議	2024年3月14日	—	—
	第10回理事会	2024年3月20日(水)14:00～15:00	出席 [理事8名 監事1名] 欠席 [理事2名 監事1名]	オンライン
第11回理事会	2024年3月23日(土)14:00～15:00	出席 [理事8名 監事1名] 欠席 [理事1名 監事1名]	オンライン	
コンプライアンス委員会				
コンプライアンス上の問題を的確に管理・処理し、公正かつ適正な運営を行う。	第1回定例委員会	2023年10月2日(月)10:00～12:00	年2回の定例会のほか、臨時会を開催し、日本財団助成事業の返還にかかる対応や、コンプライアンス・ガバナンス体制の拡充状況の報告を行った。	オンライン
	第2回定例委員会	2024年2月28日(水)13:00～14:00		オンライン
	臨時委員会	2024年3月15日(金)10:00～12:00		オンライン
会員意見交換会				
会員と協会の事業や運営に関する意見交換の機会を持つ。	第1回会員報告会	2023年12月25日(月)10:30～12:00	日本財団の返還の件に関して、会員に進捗状況の報告を適時行った。	オンライン
	第2回会員報告会	2024年2月13日(火)17:00～18:00		オンライン

日本財団助成返還金対応委員会			
会員に過度な負担をかけたり、協会経営に著しく影響を与えない返還方法(資金調達)の検討を行う。	随時	資金拠出の引受人について協議を行った。	オンライン
不適切な会計処理に関する第三者調査委員会			
日本財団助成事業での不適切な会計処理に関する件について、事実解明のための調査を行い、調査報告書の作成を行う。	随時	2024年3月に委員会を設置し、2024年度より調査開始する。	オンライン